

勝浦地域郷づくり計画



2019年3月策定

勝浦地域郷づくり推進協議会

目次

1. 郷づくり計画策定の目的等	1
(1) 郷づくり計画策定の目的と位置づけ	1
(2) 計画期間.....	1
2. 地域の現況と課題	2
(1) 人口などの現状.....	2
(2) 地域づくり計画及び分野別事業・活動の検証	4
(3) 地域住民アンケート調査及び意見交換会の結果.....	7
(4) 今後の郷づくりの課題.....	10
3. 将来像	11
4. 活動分野・基本方針	12
5. 取り組む主な活動	13
(1) 必須分野で取り組む主な活動.....	13
(2) 選択分野で取り組む主な活動.....	15
6. 活動目標の設定	18
参考	20
(1) 検討の経緯	20
(2) 検討体制.....	20
(3) 地域住民アンケート又は意見交換会等の実施概要	21

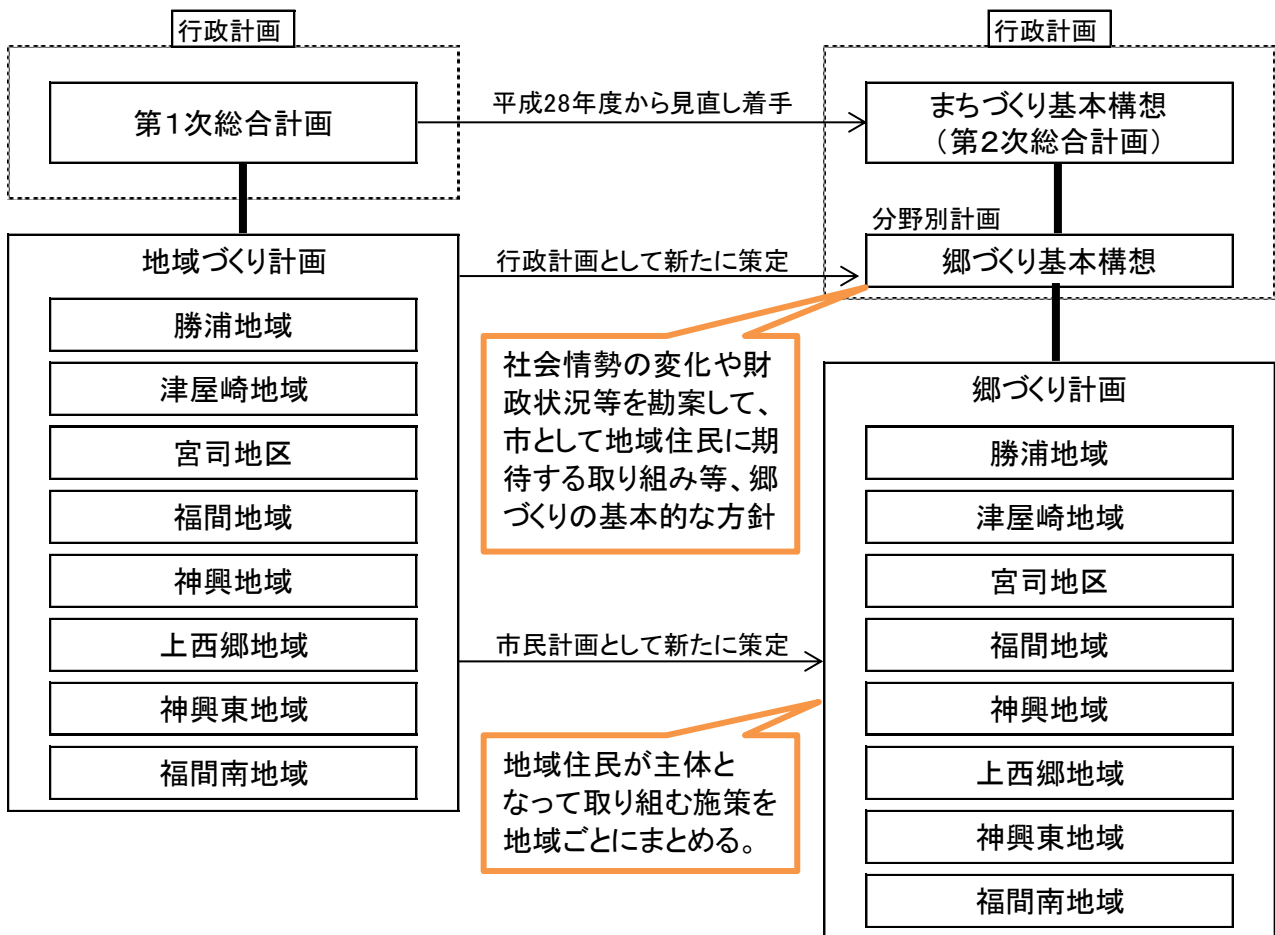
1. 郷づくり計画策定の目的等

(1) 郷づくり計画策定の目的と位置づけ

第1次福津市総合計画（計画期間：平成19年度～28年度）の策定に合わせて、平成17～18年度に「市民会議」を主体にして概ね小学校区単位の8地域（以下、「郷づくり地域」という。）ごとに地域づくり計画を策定し、郷づくり推進事業に取り組んできました。

平成19年度から約10年が経過したことから、郷づくりのあり方について見直しを行う時期を迎え、市は、平成30年3月に郷づくり地域の役割や支援方針等を体系的にまとめ、今後の郷づくりの指針となる「郷づくり基本構想」を策定しました。

そこで、郷づくり基本構想に基づき、これまでの「地域づくり」のうち地域住民が主体となって取り組む活動を「郷づくり」と再定義し、地域住民が主体となって策定する「郷づくり」の行動計画として本計画を策定します。



(2) 計画期間

計画期間は「福津市まちづくり基本構想（策定中）」の目標年である2030年までとし、勝浦地域を取り巻く社会情勢や地域課題の大きな変化に合わせて計画を変更できるものとします。

2. 地域の現況と課題

(1)人口などの現状

①人口・世帯数について

平成 30 年 3 月末現在の勝浦地域の人口は 1,101 人、世帯数は 491 世帯で、福津市全体に対して人口は 1.73%、世帯数は 1.85%を占めています。

行政区別にみると、人口及び世帯数が最も多いのは勝浦浜区（268 人 123 世帯）で、最も少ないのは勝浦松原区（104 人 48 世帯）となっています。

また、この 11 年間では全体人口が 219 人減少していますが、世帯数は変化ありません。ただし、世帯数は後期高齢者世帯の世帯分離が多いため実際の世帯数は減少傾向にあると言えます。

②高齢者について

65 歳以上の人口は 452 人で、勝浦地域の人口の 41.1%を占めています。

また、この 11 年間では 12 人減少していますが、全体人口が減少しているため高齢化率はこの 11 年間で 5.9%増加しています。また、6 自治会のうち 5 自治会で高齢化率が 40%を超えており、地域全体で高齢化が進んでいることが伺えます。

なお、高齢者に対する日頃の見守りなどの共助力については、隣組や自治会内での繋がりが強く優れているものの、いざという時に要支援者を支援する体制は整っていません。

③子どもについて

6 歳未満の子どもの数は、27 人で、勝浦地域の人口の 2.45%を占めています。

また、この 11 年間では 2 人の微増で 11 年前と比べてほぼ横ばいとなっていますが、地域全体では 6 自治会のうち 5 自治会で 6 歳未満の子どもが 10 人未満で中には 0 人の自治会もあるなど、地域全体で少子化が深刻な地域であることが伺えます。

なお、勝浦小学校の特任制度により校区外から通学する児童も勝浦に対する郷土愛は強く育っており、地域の宝として地域住民に愛され見守られています。

④その他の動向について

勝浦地域にある「新原・奴山古墳群」が平成 29 年 7 月 8 日に『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の構成資産として世界文化遺産に登録され、過疎化が進む地域の中にもかすかな一筋の光明が差しました。

世界文化遺産登録を追い風に、勝浦小学校の児童と勝浦郷づくりの合同作業による「魅力ある景観ロード（古墳脇の市道沿いに彼岸花を植栽）事業」や「古墳 de イルミネーション」で古墳群を訪れた人の目を楽しませようと、勝浦地域を盛り上げるためにみんなで精一杯汗を流して地域活性化に繋げようとしています。

■ 図表等

(平成 19 年 3 月末現在)

行政区	合計人数	男	女	世帯数	6 歳未満	65 歳以上	高齢化率
奴山区	234	112	112	111	2	88	37.6%
桂区	249	116	133	90	5	78	31.3%
西東区	180	83	97	60	4	64	35.6%
勝浦浜区	325	155	170	126	11	114	35.1%
勝浦松原区	130	64	66	45	2	51	39.2%
塩浜区	202	87	115	59	1	69	34.2%
地域合計	1,320	617	703	491	25	464	35.2%
福津市全体	55,996	26,229	29,767	21,026	2,619	12,557	22.4%

(平成 25 年 3 月末現在)

行政区	合計人数	男	女	世帯数	6 歳未満	65 歳以上	高齢化率
奴山区	201	102	99	91	4	66	32.8%
桂区	242	110	132	94	9	89	36.8%
西東区	166	80	86	65	3	61	36.7%
勝浦浜区	289	139	150	123	7	104	36.0%
勝浦松原区	125	59	66	49	2	49	39.2%
塩浜区	184	78	106	60	5	54	29.3%
地域合計	1,207	568	639	482	30	423	35.0%
福津市全体	57,301	26,892	30,409	23,189	3,092	15,107	26.4%

(平成 30 年 3 月末現在)

行政区	合計人数	男	女	世帯数	6 歳未満	65 歳以上	高齢化率
奴山区	194	96	98	99	4	75	38.7%
桂区	237	108	129	96	11	96	40.5%
西東区	140	64	76	63	4	60	42.9%
勝浦浜区	268	125	143	123	6	110	41.0%
勝浦松原区	104	49	55	48	0	47	45.2%
塩浜区	158	65	93	62	2	64	40.5%
地域合計	1,101	507	594	491	27	452	41.1%
福津市全体	63,545	29,876	33,669	26,608	4,264	17,709	27.9%

(2)地域づくり計画及び分野別事業・活動の検証

①地域の事業年表

勝浦地域郷づくり推進協議会の年間の事業年表は以下の通りです。

月	事業	通年事業
4月	総会	ホームページの管理 会報・事業チラシの発行 児童見守り活動 自主防災支部活動 花いっぱい事業 高齢者タクシー助成
5月	運営委員会（各部会別検討会）	
6月	全市一斉美化運動 松の下草刈り	
7月	健康測定会 景観ロードの草刈り・彼岸花補植	
8月	コスモス・ソバ畑の耕作・種まき	
9月	全市一斉美化運動 海岸清掃 勝浦大運動会への参加	
10月	運営委員会（マル勝まつり全体会議） マル勝まつり	
11月	全市一斉防災訓練 古墳 de イルミネーション設置 多世代交流招待給食	
12月	古墳 de イルミネーション片付け 多世代交流餅つき大会 緊急通報カレンダー配布（高齢者世帯）	
1月	松の下草刈り	
2月	松苗の植樹	
3月	運営委員会（総括会議）	

②分野ごとの状況

勝浦地域郷づくり推進協議会の各分野ごとの活動内容は以下の通りです。

項目	内容
分野名	防犯・防災分野
将来像	地域の力で安全安心のまちづくり ～向こう三軒両隣の支えあい～

基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災の意識を高め、安心して暮らせる地域づくり
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勝浦地域自主防災組織による自主防災活動 ・ 非常時の連絡体制として、有線放送を活用する（防災情報の共有） ・ 防災講習会や訓練の実施（全市一斉防災訓練時に実施） ・ 勝浦大運動会時に「防災〇×クイズ」を郷づくり主催で実施
取り組み実績や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人手不足により、日頃の見守り体制が未構築 ・ 役員の高齢化により、活動に携わる後継者育成が困難 ・ 防災〇×クイズの定着化により住民の防災意識が定着化
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの安全対策など防犯の意識を高め、安心して暮らせる地域づくり
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勝浦小学校児童の登下校時に見守り活動を実施 ・ 登校時の見守り活動は、毎月第2・4水曜日に実施 ・ 下校時の見守り活動は、毎月第3水曜日に青パトで巡回 ・ 防犯や不審者情報の共有化のため、有線放送を活用
取り組み実績や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人手不足により、毎日の取組みが出来ない

項目	内容
分野名	健康・福祉分野
将来像	勝浦の自然の中で、人にやさしいまちづくり

基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勝浦ならではのコミュニティの強さを活かし、高齢者が元気で長生きし、生きがいを持てる地域づくり
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康測定会 ・ 緊急通報カレンダーの配付 ・ 高齢者タクシー助成 ・ 招待給食
取り組み実績や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康測定会を実施し、地域住民に自分の健康への関心を持たせる ・ 緊急通報先の電話番号一覧表付きのカレンダーを高齢者宅に配布し、緊急時に活用 ・ 交通弱者である高齢者にタクシー基本料金を助成（月2回）し、移動を補助 ・ 地域の高齢者を小学校の招待給食へ呼び掛け、異世代間の交流を体験

項目	内容
分野名	環境・景観分野
将来像	歴史と緑、田園、海と夕日（陽）をいかした夢の実現！

基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいな海辺や川づくり
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸清掃 ・松林清掃と植樹 ・全市一斉美化活動
取り組み実績や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・9月の地域秋季大祭に合わせて海岸清掃を実施し、海岸の美観を形成 ・暴風保安林である松林の下草刈りや植樹を実施し、海岸の美観を形成 ・勝浦小学校の児童も参加し、環境活動を体験 ・6月と9月に全市一斉美化活動を実施し、地域の美観を形成
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史と緑のふれあいネットワーク
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・古墳周辺のコスモスとソバ畑事業 ・魅力ある景観ロード事業 ・花いっぱい事業
取り組み実績や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・古墳周りの畑をコスモス・ソバの花で飾り、古墳群の美観を形成 ・古墳沿いの市道脇を彼岸花で飾り、古墳群の美観を形成 ・古墳周辺の畑や国道沿いの空き地を花で飾り、地域の美観を形成 ・勝浦小学校の児童も参加し、古墳群の美化活動を体験

項目	内容
分野名	活性化・交流分野
将来像	子どもたちがのびのびと育ち、自慢できる地域づくり

基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきとした集いと語らいの場をつくり交流を広げる
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・勝浦大運動会 ・マル勝まつり ・古墳 de イルミネーション ・多世代交流餅つき大会 ・アンビシャス広場の支援
取り組み実績や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校が共働で開催し、地域を活性化 ・地域の宝である古墳群をみんなで盛り上げる ・地域住民と小学生・PTAによる多世代間交流の場の形成

③地域づくり計画及び分野別事業・活動の成果

- ・郷づくりという単位で広域的な活動が可能になるなど活動の幅が広がりました。
- ・地域をみんなで活性化するための活動として定着化してきました。
- ・地域の課題をみんなで考え、実行するための活動として定着化してきました。

(3)地域住民アンケート調査及び意見交換会の結果

【市民アンケート結果】

[勝浦に関するアンケート内容・結果について]

勝浦郷づくりでは、市制施行10周年を契機に平成26年度6月～7月にかけて「勝浦に関するアンケート」を実施しました。勝浦地域内80名に加え地域外居住100名の合計180名の方から回答を頂きました。

主な設問と回答結果は、以下のとおりです。

<勝浦の人に対する設問>

- ① 勝浦で自慢できる習慣、風習、文化、芸能、地域活動など（複数回答可）
→勝浦小学校の運動会及び獅子舞・武者行列が最も多く各31%、人のつながりが26%、地域と学校とのつながり及び昔ながらの人づき合いが各22%、以下、人情味、人形浄瑠璃、助け合い、勝浦放生会、郷土愛、近所付き合い、イルミネーション等となっています。
- ② 生活するうえで困っていること（複数回答可）
→外出時の交通手段及びバス便が少ないが各45%、過疎化が40%、田畑の維持管理が29%、通学地が遠い24%、集落内道路が狭い23%、隣近所の空き家21%、鳥や動物からの被害が20%、以下、病院通い、市役所が遠い、日用品や生活物資の購入、家の維持管理、地域の行事参加等となっています。
- ③ 暮らしていくうえで、充実したらよいと思うもの（複数回答可）
→買い物の利便化が39%、都市との交通網が30%、日用品販売の店舗が27%、高齢者が集える施設が25%、ATMの設置が24%、働ける施設が20%、拠点となる公民館が19%、以下、病院、ガソリンスタンド等となっています。
- ④ 暮らしていくうえで、あったらよいと思う地域の取組み（複数回答可）
→地域活性化の取組みが36%、観光資源づくりが35%、遊休農地の活用が34%、健康教室（相談会・測定）が33%、高齢者が参加できる行事が28%、特産品の開発が25%、以下、景観づくり活動、環境美化活動等となっています。
- ⑤ 勝浦の地域づくりに関心がありますか
→関心があるが31%、少し関心があるが30%、どちらとも言えないが29%、あまり関心がないが5%、関心がないが3%、未記入が3%となっています。
- ⑥ 貴方にとって関心のある勝浦の地域づくりとは（関心がある・少し関心がある人のみ）
→自然環境を維持したまちづくりが27%、高齢者や子どもが住みやすいまちづくりが22%、イベント等による地域の活性化が20%、以下、農業中心の経済活動が活発なまちづくり、事故や災害のないまちづくり、花いっぱい運動など景観を向上させるまちづくりの順となっています。

<地域外の人に対する設問>

- ① 勝浦を訪れる回数は
→年に数回が33%、月に1回程度が24%、週に数回が16%、ほぼ毎日が12%、月に2~3回が10%、殆ど無しが4%、一度も行った事が無いが1%となっています。
- ② 勝浦を訪れる目的は（複数回答可）
→目的地への経路が35%、買い物が33%、ドライブが25%、仕事が24%、自然に触れるための22%、以下、勤務先の事業所、海遊び等となっています。
- ③ 勝浦に住んでみたいと思ったことは
→住んでみたいと思ったことがあるが20%、ないが80%となっています。
- ④ 住んでみたいと思った理由は（住んでみたいと思った人のみ回答。複数回答可）
→自然に親しみたいが40%、静かな時間が持たたいが35%、子どもを自然の中で育てたい及び老後を自然と親しんで各20%、以下、暮らしやすそう、田舎に住みたい等となっています。
- ⑤ 勝浦地域にある歴史遺産や記念物を見学した経験は（複数回答可）
→新原奴山古墳群が59%、船つなぎ石が28%、空間神社の藤が19%、若宮神社の大クスが17%、百塔16%、六人士遺徳記念碑14%、以下、万葉歌碑、奴山のホタル等となっています。
- ⑥ 勝浦地域での行事やイベントに参加した経験は（複数回答可）
→あんず祭りが37%、実業団女子駅伝が29%、マル勝まつりが21%、古墳でアート展が20%、イルミネーションが19%、以下、秋の放生会、あんずの感謝祭等となっています。

[勝浦に関するアンケートの分析結果について]

上記の設問に対する回答結果から、勝浦地域に求められることは次のとおりではないでしょうか。

- ① 勝浦地域は昔ながらの伝統や文化を守り、郷土愛に満ちた人情味あふれる地域で、小学校とのつながりが強い。
- ② 勝浦地域の大きな課題は交通不便による買い物や病院への移動や過疎農村地域であるがゆえの田畑の維持管理などである。
- ③ 勝浦地域の住民は、勝浦の地域活性化や高齢者対策、田畑や自然環境の維持保全を望む声が多い。
- ④ 勝浦地域の住民は、勝浦の地域づくりへの関心は比較的高い。
- ⑤ 勝浦以外の居住者は、勝浦地域の自然の豊かさを気に入っている。
- ⑥ 勝浦以外の居住者は、あんずの里や勝浦郷づくりの行事・イベントに関心があるようだ。

[郷づくりへの期待について]

アンケートの中では、「勝浦郷づくり会に望むものは」という設問も用意しました。勝浦地域の郷づくりに求めることとして、「活動への参加について、役員の頑張りの大変さを理解しながらも、多くの地域の住民が参加しやすい活動への期待」や「地域の人とのたまり場的な交流の場所づくりへの期待」、「空き家や遊休農地を活用した取組みへの期待」など、勝浦郷づくり会への大きな期待を抱く41件の声がありました。

【意見交換会結果】

[郷づくり役員、事務局員、地域担当職員、研修職員による意見交換会内容・結果について]

勝浦郷づくりではこの「勝浦地域郷づくり計画」を策定するにあたり、郷づくり役員、事務局員、地域担当職員、研修職員の総勢27名で、これまでの取組んできた事業・活動の検証や前述のアンケート結果をもとに、勝浦郷づくり計画策定にあたり、今後の事業・活動について意見交換会を2回（8/25、10/20）にわたり実施しました。

主な意見及び検討結果は、以下のとおりです。

- ① いきいき健康サロンの実施にあたっての移動手段の確保はどうするか？
→地域内の社会福祉法人（津屋崎園や昭和学園）の協力を仰ぎたいと考えている。
- ② 景観ロードは散策路全体への実施が最終目標であり、今後の取り組みでは良い花を咲かせるための施肥等も必要になるのでは？
→活動目標や活動目標値にその旨を記載したい。
- ③ 地域の課題としての連携強化で、学校・アンビシャス広場・学童保育所と郷づくりとの連携については勝浦地域は進んでいる地域であり追記しては？
→そう少し、アンビシャス広場や学童保育所との連携も記載したい。

【地域意見の集約結果】

[勝浦地域住民による意見集約・結果について]

勝浦郷づくりではこの「勝浦地域郷づくり計画」を策定するにあたり、計画概要を記した会報を勝浦地域に各戸配布し、地域住民の意見集約を実施しました。

主な意見及び検討結果は、寄せられませんでした。

(4)今後の郷づくりの課題

アンケート結果や意見交換会を踏まえて、勝浦地域における今後の郷づくりの課題について、各分野ごとにまとめた結果は、以下のとおりです。

①増加する高齢者のための継続的な支援が必要(→健康・福祉分野)

今後も高齢者が増加することが見込まれますので、高齢者が安心して暮らしていくことができる地域を目指し、単身高齢者への声かけや安否確認など地域で見守りを行っていくなど、高齢者のための継続的な支援が求められています。

また、健康サロンの開催など介護予防や健康増進の視点からの取組みも必要となってきました。

②住民が安全に安心して暮らせる共助(近所)の地域づくりが必要(→防犯・防災分野)

交通安全、防犯、防災など、様々な視点で危険個所を把握、点検することで、住民が安全に安心して暮らすことができる地域づくりが求められています。

また、避難行動要支援者への見守り体制の構築など、共助(近所)力の強化が求められています。

③自然環境を将来に繋げる多世代連携の環境・景観づくりが必要(→環境・景観分野)

先人が脈々と受け継いできた勝浦地域の自然環境を将来の世代に繋げるため、多世代が連携して保存・保全、美化・清掃するなどの環境・景観づくりが求められています。

また、世界文化遺産の構成資産である「新原・奴山古墳群」を守り育てていく活動も継続する必要があります。

④コミュニティ力を活かして多世代が交流する地域活性化が必要(→活性化・交流分野)

田舎ならではのコミュニティ力を活かして、子どもからお年寄りまでが交流し、生きがいを感じ取れるような地域の活性化が求められています。

また、郷づくり交流センターを拠点として様々な事業を展開したり、ちょっとフラット寄ってなごんで頂くような交流センター運営を行う必要があります。

⑤小学校と連携し、地域全体で子どもを育む協力体制が必要(→教育連携分野)

地域の宝であり、地域の将来を託す郷土愛に満ちた子どもたちを地域全体で育むような協力体制を構築することが求められています。

なお、郷づくり交流センターを放課後児童保育やアンビシャス広場に活用し、一つ屋根の下で子どもたちが伸び伸びと育つ環境づくりが必要です。

3. 将来像

地域の現況と課題から、勝浦地域が目指す将来像は、以下のとおりです。

勝 浦 地 域 の 将 来 像

“風集う なごみの里 かつうら”

古代のロマン、豊かな自然、安全な食料、みどり広がる農地、

あたたかな郷土愛と人情に育まれながら

笑顔と活気が集い、ゆっくり歩こう よかふるさと

「風集う」とは、人々の集まりに加え、活気あふれるさまを表現しています。また、勝浦平野を見下ろす山の1つ名児（なちご）山は「なごみ」が変化したものと伝えられています。歴史があり、豊かな自然に包まれ、かつ豊かな郷土愛と温かな人情あふれる勝浦地域全体を「癒しのある里」＝「なごみの里」ととらえ、勝浦平野の稲穂が風に揺れる美しいさまを「なごみの里」の象徴として表現したものです。

以上のように、歴史と豊かな自然をベースに郷土を愛し人情ある人々が集い、活気ある地域、癒しのある地域づくりをすすめ、誇りの持てるふる里づくりをすすめていこう、という思いを込めました。

4. 活動分野・基本方針

将来像の実現に向けて、本地域では活動分野及び分野ごとの基本方針を以下の通り設定します。

【必須分野】

分野名		基本方針
必須分野	健康・福祉	基本方針1：みんなで支え合う環境づくりを進めます。 基本方針2：ふれあいの場をつくり、健康増進や介護予防を進めます。
	防犯・防災	基本方針1：みんなで学んで安全・安心な地域づくりを進めます。 基本方針2：みんなで見守る共助（近助）の地域づくりを進めます。
地域の 実態に 応じて 選択する 分野	環境・景観	基本方針1：多世代が連携し、将来につなぐ環境・景観づくりを進めます。 基本方針2：古墳群や海岸松林を守り育てていく活動を進めます。
	活性化・交流	基本方針1：みんなが交流し、生きがいを感じ取れる活動を進めます。 基本方針2：みんながなごめる交流センター運営を進めます。
	教育連携	基本方針1：みんなで郷土愛に満ちた子どもを育む活動を進めます。 基本方針2：子どもが伸び伸びと育つ環境づくりを進めます。

5. 取り組む主な活動

※実施スケジュール … 短期:概ね1～2年 中期:概ね3～5年 長期:概ね6～12年

(1) 必須分野で取り組む主な活動

① 健康・福祉分野

基本方針1：みんなで支え合う環境づくりを進めます

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎：実施時期				
	短期	中期	長期		
■高齢者タクシー利用助成事業	◎	◎	◎	地域	継続
■高齢者緊急連絡シート兼カレンダー配布事業	◎	◎	◎	地域	継続
■あんしん情報セットの配布★	◎	◎	◎	地域	新規
■地域支え合いマップの作成★	○	◎	◎	地域	新規
■高齢者の移動支援	○	○	◎	地域	新規

※★は重点活動

基本方針2：ふれあいの場をつくり、健康増進や介護予防を進めます。

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎：実施時期				
	短期	中期	長期		
■健康測定会	◎	◎	◎	地域	継続
■いきいき健康サロン★	○	◎	◎	地域	新規
■てんとうむし（転倒無視）体操（サロン時）	○	◎	◎	地域	新規
■介護予防教室（サロン時）	○	◎	◎	地域	新規

※★は重点活動

① 防犯・防災分野

基本方針1：みんなで学んで安全・安心な地域づくりを進めます。

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール ○：検討時期、◎：実施時期			担当	継続・ 新規
	短期	中期	長期		
■一斉防災訓練・体験訓練★	◎	◎	◎	学校・地域	継続
■防災〇×クイズ（勝小運動会・防災訓練時）	◎	◎	◎	学校・地域	継続
■防犯・防災研修会	○	◎	◎	地域	新規
■地域の安全点検	○	◎	◎	地域	新規

※★は重点活動

基本方針2：みんなで見守る共助（近助）の地域づくりを進めます。

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール ○：検討時期、◎：実施時期			担当	継続・ 新規
	短期	中期	長期		
■児童見守り活動	◎	◎	◎	地域	継続
■避難行動要支援者個別計画の作成★	○	◎	◎	自治会・地域	新規
■防犯・防災研修会	○	◎	◎	地域	新規
■郷づくり交流センターの防災拠点化	○	◎	◎	地域	新規

※★は重点活動

(2) 選択分野で取り組む主な活動

① 環境・景観分野

基本方針1：多世代が連携し、将来につなぐ環境・景観づくりを進めます。

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール ○：検討時期、◎：実施時期			担当	継続・ 新規
	短期	中期	長期		
■松林清掃・松苗の植樹	◎	◎	◎	学校・地域	継続
■全市一斉美化活動（6月、9月）	◎	◎	◎	地域	継続
■花いっぱい事業（花畑・花壇）	◎	◎	◎	個人・団体	継続
■魅力ある景観ロード事業(古墳群の彼岸花)★	◎	◎	◎	学校・地域	継続

※★は重点活動

基本方針2：古墳群や海岸松林を守り育てていく活動を進めます。

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール ○：検討時期、◎：実施時期			担当	継続・ 新規
	短期	中期	長期		
■花いっぱい事業（古墳群のコスモス畑）★	◎	◎	◎	学校・地域	継続
■魅力ある景観ロード事業(古墳群の彼岸花)	◎	◎	◎	学校・地域	継続
■松林清掃・松苗の植樹	◎	◎	◎	学校・地域	継続
■海岸清掃	◎	◎	◎	学校・地域	継続

※★は重点活動

② 活性化・交流分野

基本方針1：みんなが交流し、生きがいを感じ取れる活動を進めます。

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎：実施時期				
	短期	中期	長期		
■ マル勝まつり★	◎	◎	◎	学校・地域	継続
■ (勝)イルミネーション★	◎	◎	◎	学校・地域	継続
■ 多世代交流餅つき大会	◎	◎	◎	P T A・地域	継続
■ 多世代交流招待給食	◎	◎	◎	学校・地域	継続

※★は重点活動

基本方針2：みんながなごめる交流センター運営を進めます。

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎：実施時期				
	短期	中期	長期		
■ 郷づくり交流センターの指定管理・運営★	○	◎	◎	地域	新規
■ 郷づくり交流センターでの地域事業★	○	◎	◎	地域	新規
■ 郷づくり交流センターの開放（なごみ場所）	○	◎	◎	地域	新規
■ 郷づくり交流センターの周知・広報	○	◎	◎	地域	新規

※★は重点活動

③ 教育連携分野

基本方針1：みんなで郷土愛に満ちた子どもを育む活動を進めます。

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール ○：検討時期、◎：実施時期			担当	継続・新規
	短期	中期	長期		
■寺子屋事業（地域で学習支援）★	○	◎	◎	地域	新規
■郷土芸能育成支援	◎	◎	◎	地域	継続
■勝浦大運動会の共同運営	◎	◎	◎	学校・地域	継続
■マル勝まつりの共同運営	◎	◎	◎	学校・地域	継続

※★は重点活動

基本方針2：子どもが伸び伸びと育つ環境づくりを進めます。

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール ○：検討時期、◎：実施時期			担当	継続・新規
	短期	中期	長期		
■アンビシャス広場と学童保育所の共同実施	◎	◎	◎	学校・地域	新規
■アンビシャス広場の支援	◎	◎	◎	地域	継続
■学童保育所との連携	◎	◎	◎	地域	新規

※★は重点活動

④ 活動を広め、参加者を増やす仕組みづくり

<今後取り組む活動>

地域の課題	■勝浦地域での郷づくり活動に対する課題は、認知度不足、後継者不足、参加者不足などがあります。また、自治会長をはじめとした役員の負担も大きいものがあります。
何を	■認知度不足・参加者不足には広報・PR媒体の活用。後継者不足には学校、PTA、保護者、アンビシャス広場、学童保育所との連携を強化。自治会長の負担軽減は事業・会議の見直しを検討します。
どのように	■広報・PR媒体を積極的に活用し、学校、PTA、保護者、アンビシャス広場、学童保育所との連携は交流事業を通じて連携会議を企画し、自治会長の負担軽減を図るため自治会事業(敬老会、盆踊り等)の郷づくり事業化を検討します。

6. 活動目標の設定

将来像の実現に向けて取り組む活動のうち、重点活動と位置付けた取り組みについては、その達成状況を把握しやすいよう、活動目標値を設定します。

健康・福祉分野の活動目標

分野	健康・福祉分野		
基本方針	みんなで支え合う環境づくりを進めます		
重点活動	活動目標	活動目標値	
あんしん情報セットの配布	緊急時あんしん情報(親族連絡先、既往症、掛り付医等)セットを高齢者宅に配布	対象高齢者に100%配布	
地域支え合いマップの作成	地域全体で支え合いマップを作成	全構成自治会で作成	

分野	健康・福祉分野		
基本方針	ふれあいの場をつくり、健康増進や介護予防を進めます		
重点活動	活動目標	活動目標値	
いきいき健康サロン	いきいき健康サロンを郷づくり交流センターで定期開催	月2回の開催(当面)	

防犯・防災分野の活動目標

分野	防犯・防災分野		
基本方針	みんなで学んで安心・安全な地域づくりを進めます		
重点活動	活動目標	活動目標値	
一斉防災訓練・体験訓練	地域住民が一斉防災訓練・体験訓練に参加	全世帯が一斉防災訓練・体験訓練に参加、	

分野	防犯・防災分野		
基本方針	みんなで見守る共助(近助)の地域づくりを進めます		
重点活動	活動目標	活動目標値	
避難行動要支援者(高齢者、障がい者等)個別計画の作成	避難行動要支援者に支援者を複数配置し見守る	全ての避難行動要支援者の個別計画を策定	

環境・景観分野の活動目標

分野	環境・景観分野		
基本方針	多世代が連携し、将来につながる環境・景観づくりを進めます		
重点活動	活動目標	活動目標値	
松林清掃・松苗の植樹	海岸松林の下草刈り・松苗の植樹を実施し、松林を守る	定期清掃（下草刈り）年2回、松苗植樹年50～100本	
魅力ある景観ロード事業（古墳群の彼岸花）	古墳群脇の彼岸花帯の草刈り・補植及び延長を実施。	草刈りは随時、補植は年1回、延長は散策路全域化。	

分野	環境・景観分野		
基本方針	古墳群や海岸松林を守り育てていく活動を進めます		
重点活動	活動目標	活動目標値	
花いっぱい事業（古墳群のコスモス畑）	古墳群来訪者にコスモスの花を楽しませる	約3,000㎡を耕作・播種	
魅力ある景観ロード事業（古墳群の彼岸花）	古墳群脇の彼岸花帯の草刈り・補植及び延長を実施。	草刈りは随時、補植は年1回、延長は散策路全域化。	

活性化・交流分野の活動目標

分野	活性化・交流分野		
基本方針	みんなが交流し、生きがいを感じ取れる活動を進めます		
重点活動	活動目標	活動目標値	
マル勝まつり	勝浦地域を盛り上げる	地域住民の参加者500人	
⑧ イルミネーション	勝浦地域の一体感を高め、地域内外にPRする	来訪者1,000人	

分野	活性化・交流分野		
基本方針	みんながなごめる交流センター運営を進めます		
重点活動	活動目標	活動目標値	
郷づくり交流センターの指定管理・運営	郷づくり交流センターの指定管理を協議会で受ける	利用者満足度100%	
郷づくり交流センターでの地域事業	健康サロン等の事業を実施	月2回以上（当面）	

教育連携分野の活動目標

分野	教育連携分野		
基本方針	みんなが郷土愛に満ちた子どもを育む活動を進めます		
重点活動	活動目標	活動目標値	
寺子屋事業（地域で学習支援）	小学生の放課後学習支援を地域住民で実施	毎週2回	

参考

(1) 検討の経緯

策定会議

回	開催日	主な内容
第1回	平成30年7月21日	これまでの取り組みや活動の評価・検証について
第2回	平成30年8月25日	課題の整理、今後の取り組みについて
第3回	平成30年10月20日	計画（案）についての意見集約
第4回	平成30年12月18日	計画（案）についての意見集約
第5回	平成31年 3月 9日	最終意見調整後、「勝浦地域郷づくり計画」の承認

市民アンケート又は意見交換会等

対象又は場所等	実施期間又は開催日等	主な内容
アンケート	平成26年6月～7月	4年前に実施したアンケートの集約状況を記載
意見交換会	平成30年8月25日 平成30年10月20日	上記アンケートや社会状況の変化をもとに、役員・事務局員・地域担当職員・研修職員で意見交換
住民意見公募	平成31年1月	会報にて計画概要を掲載し、住民意見を公募

(2) 検討体制

氏名	役職等	氏名	役職等
新海 悦生	会長	太田 剛	副会長（勝浦小学校長）
伊熊 泉	副会長兼健康・福祉副会長	井ノ口 雅洋	会計
小澤 和幸	環境・景観部会長	乙藤 英子	健康・福祉部会長
占部 寛	活性化・交流部会長	嶋田 和重	防犯・防災部会長
青木 正吾	環境・景観副会長	高山 賢	防犯・防災副会長
荻原 千賀子	塩浜区自治会長	安部 信二	奴山区自治会長
花田 徹	桂区自治会長	花田 研二	西東区自治会長
花田 秀正	勝浦浜区自治会長	花田 幸夫	勝浦松原区自治会長
森永 恒夫	監査委員	荻原 哲夫	監査委員
御厨 浩	事務局員	戸畑 貴子	事務局員
高橋 美幸	地域担当職員	花田 孝信	地域担当職員
堤田 達也	地域担当職員	平田 健三	地域担当職員
村上 尚寛	研修職員	廣渡 知世	研修職員
花田 智美	研修職員		

(3)地域住民アンケート又は意見交換会等の実施概要

①地域住民アンケートの実施概要

[調査の対象]

- ・勝浦地域住民（住民、郷づくり役員、市職員）
- ・勝浦以外居住者（他の郷づくり役員、小学校の先生、あんずの里来訪者、事業所職員等）

[調査の方法]

- ・勝浦地域住民80名及び地域外居住者180名に調査票を直接配布し、回収

[調査の期間]

- ・調査期間は平成26年6月～7月

[調査結果]

配布数	回収数	回収率
180件	180件	100%

②意見交換会の実施概要

[参会者]

- ・第2回の策定会議（役員会）にて、参加者21名で計画（案）協議
- ・第3回の策定会議（役員会）にて、参加者21名で計画（案）協議
- ・第4回の策定会議（役員会）にて、参加者 名で計画（案）協議
- ・第5回の策定会議（役員会）にて、参加者 名で協議し「勝浦地域郷づくり計画」を承認。

[開催日]

- ・第2回：平成30年8月25日（土）18時～、於：勝浦公民館研修室
- ・第3回：平成30年10月20日（土）18時～、於：勝浦公民館研修室
- ・第4回：平成30年12月18日（火）19時～、於：あんずの里研修室
- ・第5回：平成31年 3月 9日（土）17時～、於：勝浦公民館研修室

[意見交換会の様子]

- ・計画（案）の説明後、活動目標や活動目標値についての意見が出された。
- ・地域住民への意見集約は、素案を各自が持ち帰って自治会役員会などで意見聴取したり、勝浦郷づくりの会報（1/1号）で計画概要（活動目標等）を周知して住民意見公募を実施した。
- ・郷づくりの会報（1/1号）での意見聴取結果及び最終（案）についての意見調整を実施した。



2019年3月

勝浦地域郷づくり推進協議会

〒811-3521 福岡県福津市勝浦 2274-1

電話：52-2217 FAX：52-2217

URL <http://wagamachi.city.fukutsu.lg.jp>

E-mail sato-katsuura@bz03.plala.or.jp